

区市町村 (No)	実施期		1 検査方法及び対象						2 受診率						(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の)			
	隔年	毎年	頸部細胞診	対象	頸部細胞診 +HPV	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	台帳作成	均等な 受診勧奨	年齢階級別	受診者別 データ	検診機関別
1	○		○	20歳以上 偶数年齢女性 及び 31歳以上奇数年齢 で昨年度区の子宮がん 検診未受診者					15,733	1,930	1,718	579	3,069	19.5%	以上			○	○	○
2	○		○	20歳以上女性 隔年					35,248	3,808	4,038	0	7,846	22.3%	以上	○		○	○	○
3		○	○	20歳以上女性 毎年					65,133	8,355	9,947	4,885	13,417	20.6%	以上			○	○	○
4	○		○	20歳以上女性 偶数年齢					99,225	5,811	4,786	293	10,304	10.4%	未滿		○	○	○	
5	○		○	20歳以上女性 偶数年齢					60,095	3,777	4,077	301	7,553	12.6%	未滿			○		○
6	○		○	20歳以上女性 前年度未受診者					53,740	1,633	2,258	81	3,810	7.1%	未滿		○	○	○	○
7	○		○	20歳以上女性 2年に1度					74,934	1,706	2,265	0	3,971	5.3%	未滿			○	○	○
8	○		○	20歳以上 偶数年齢女性					137,374	20,261	19,986	0	40,247	29.3%	以上	○	○	○	○	○
9	○		○	20歳以上 偶数年齢女性					108,899	8,241	10,324	511	18,054	16.6%	未滿	○	○	○	○	○
10	○		○	20歳以上女性 2年に1度					86,917	5,489	12,161	0	17,650	20.3%	以上			○	○	○

区市町村 (No)	情報管理)			3 要精検率		
	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	2年連続受 診者の集計	当該年度 要精検者数	要精検率	全国 比較
1		○	○	47	2.7%	高い
2	○	○	○	80	2.0%	高い
3		○	○	184	1.8%	高い
4			○	213	4.5%	高い
5			○	66	1.6%	高い
6		○	○	22	1.0%	未満
7				35	1.5%	高い
8			○	98	0.5%	未満
9			○	240	2.3%	高い
10		○		106	0.9%	未満

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(5-1)細胞診精度管理		(5-2)細胞診精度管理				4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級別	検診機関別	適切な 検体採取	検査を 他検査機関 委託	二重 チェック	十分な経験医 師、検査技師	過去の細胞 所見の見直し	ベセスダ分類 を使用	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
1	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。	○	○	○	5/5	2/5	5/5	5/5	5/5	2/5					2/5	5/5	4/5	3/5
2	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○	5/5	4/5	1/1	1/1	1/1	0/1					3/5	4/5	5/5	2/5
3	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○	○		5/5	4/5	2/2	2/2	2/2	0/2					4/5	3/5	5/5	5/5
4	・該当なし	○	○		5/5	4/5	5/5	5/5	5/5	2/5					5/5	5/5	5/5	5/5
5	・「事業評価のための点検表」において、項目が満た されていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・陽性反応的中度が低い医療機関がある。	○	○	○	4/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1					5/5	4/5	5/5	3/5
6	・がん発見率が低い。	○	○	○	3/5	3/5	1/1	1/1	1/1	0/1	○				3/5	3/5	3/5	3/5
7	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・陽性反応的中度が低い医療機関がある。	○	○	○	5/5	3/5	2/2	2/2	2/2	0/2	○	○			3/5	3/5	4/5	4/5
8	・該当なし	○	○	○	5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1					4/5	5/5	5/5	4/5
9	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。	○	○		5/5	5/5	2/2	2/2	2/2	1/2					2/5	2/5	4/5	3/5
10	・「事業評価のための点検表」において、項目が満た されていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○		4/4	3/4	4/4	4/4	3/4	2/4					1/4	3/4	4/4	3/4

区市町村 (No)	5 精検受診率				分析	対策1		対策2		対策3
	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策
1	4	8	74.5%	以上						・平成20年度から検診実施医療機関から要精検者に対し「がん検診情報提供書兼結果通知書」を交付している。この通知書により精検実施機関から検査結果を報告してもらっている。
2	0	15	81.3%	以上						・一次検診受診時での精検の必要性、検査方法の説明の徹底。 ・検診委託先からの情報提供、精検未受診者の把握・勧奨等精検結果が確実に得られるよう医療機関との連携を図るため、検討会・検診体制の構築が必要である。
3	46	49	48.4%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・受診勧奨を検診開始時から医療機関と協力して行い、精検受診期間に余裕を持たせる。				
4	不明	不明	不明	不明	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・要精検者のうち、精密検査の結果が区にきていない者について、一次検診を行った医療機関に対し、精密検診結果の調査を行う。				
5	0	20	69.7%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。 ・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・医療機関からの情報提供を求めていく。				
6	0	14	36.4%	未満	・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・特になし				
7	4	9	62.9%	未満	・受診しない理由が明らかになっていない。			・医療機関との契約書に精検結果把握について明文化している。		
8	3	16	80.6%	以上						・個別に精検受診の有無を調査。有の場合は結果を聞き、無の場合は受診勧奨をした。
9	0	205	14.6%	未満	・平成21年6月よりがん検診システムを導入したばかりであるため。	・導入した検診システムを使用して結果をデータ管理し、受診勧奨、状況把握通知を送付。その後返信結果でフォローする。				
10	0	0	100.0%	以上						

区市町村 (No)	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率			分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(上皮内がん割合)		
	精検受診率 把握	年齢階級別	検診機関別	精検 未受診率 把握	年齢階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	年齢階級別	検診機関別	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見率 把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	年齢階級別	検診機関別	受診歴別
1	○	○						○			2	0.12%	以上		○	○					
2	○	○	○					○	○	○	1	0.02%	未満	・該当なし	○	○	○		○	○	○
3	○	○		○	○			○			13	0.13%	以上		○	○					
4									○		不明	不明	不明	・精密検査の特定の紹介先がない。							
5	○	○									3	0.07%	以上		○	○					
6	○	○	○	○	○	○		○	○	○	0	0.00%	未満	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○				
7	○	○	○	○	○	○		○	○	○	1	0.04%	未満	・他の検診実施機関と比較して、がん発見率が特に低い検診実施機関がある。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○				
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0.08%	以上		○	○	○				
9	○										5	0.05%	以上		○	○	○	○			
10	○	○									14	0.12%	以上		○	○	○				

区市町村 (No)	7 陽性反応適中度		分析	集計作業（陽性反応適中度）				課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別				
1	4.26%	以上		○				・一次検診受診時の説明 ・対象年齢の検討	・H20年度よりコルポスコープ検査は中止し、指針通りの方法へ変更		
2	1.25%	未満	・がん発見率が低い。	○	○	○		・一次検診受診時の説明 ・検診機関の要精検判定基準の把握 ・受診者特性の検討			
3	7.07%	以上		○	○			・実施期間の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			
4	不明	不明	・精密検査の特定の紹介先がない。					・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握	・精検結果未把握		
5	4.55%	以上		○				・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明	・精検受診把握の情報提供体制はできていないが、報告時期までに情報が得られない		
6	0.00%	未満	・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・がん発見率が低い。	○	○	○		・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明	・精検受診把握の情報提供体制はできていないが、報告時期までに情報が得られない	・2機関未回収	
7	2.86%	未満	・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○	○	○		・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			
8	16.33%	以上		○	○	○		・一次検診受診時の説明			
9	2.08%	未満	・精検受診率が低い。	○				・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			
10	13.21%	以上		○	○	○		・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明			

区市町村 (No)	実施期		1 検査方法及び対象						2 受診率						(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の)			
	隔年	毎年	頸部細胞診	対象	頸部細胞診 +HPV	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	台帳作成	均等な 受診勸奨	年齢階級別	受診者別 データ	検診機関別
11	○		○	20歳以上 偶数年齢女性					208,300	12,957	12,587	0	25,544	12.3%	未滿	○		○		○
12	○ (40歳以上)	○ (20~39歳)	○	20~39歳の女性 40歳以上の女性で 偶数年齢のみ					271,772	14,443	14,386	未把握	28,829	10.6%	未滿	○		○	○	
13	○		○	20歳以上女性 隔年					70,874	3,191	3,568	144	6,615	9.3%	未滿	○		○	○	○
14	○		○	20歳以上 奇数年齢 ただし、新規申込者 は20歳以上の 偶数年齢でも 受診可能					98,720	8,945	7,363	429	15,879	16.1%	未滿			○	○	○
15	○		○	20歳以上女性 隔年					169,999	9,070	9,492	0	18,562	10.9%	未滿	○		○	○	○
16	○		○	20歳以上女性 隔年					81,648	3,550	3,792	0	7,342	9.0%	未滿			○		
17	○		○	20歳以上女性 年末年齢が 偶数の方					104,652	4,374	4,486	2	8,858	8.5%	未滿			○	○	○
18	○		○	20歳以上 偶数年齢					61,874	6,447	6,844	0	13,291	21.5%	以上	○		○	○	○
19	○ (30歳以上)	○ (20~29歳)	○	20~29歳 及び 30歳以上偶数 年齢の女性区民					162,196	7,899	7,825	94	15,630	9.6%	未滿			○		○
20	○		○	20歳以上女性 前年未受診者					210,660	19,140	21,049	0	40,189	19.1%	以上			○		○

区市町村 (No)	情報管理)			3 要精検率		
	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	2年連続受 診者の集計	当該年度 要精検者数	要精検率	全国 比較
11				96	0.8%	未満
12		○		208	1.4%	同値
13		○	○	79	2.2%	高い
14		○	○	158	2.1%	高い
15			○	54	0.6%	未満
16				20	0.5%	未満
17	○	○	○	59	1.3%	未満
18		○		214	3.1%	高い
19				28	0.4%	未満
20				459	2.2%	高い

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(5-1)細胞診精度管理		(5-2)細胞診精度管理				4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級別	検診機関別	適切な 検体採取	検査を 他検査機関 委託	二重 チェック	十分な経験医 師、検査技師	過去の細胞 所見の見直し	ベセスダ分類 を使用	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
11	・がん発見率が低い。	○	○	○	5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1					4/5	5/5	5/5	5/5
12		○	○	○	5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1	○				3/5	5/5	5/5	5/5
13	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が多い。 ・陽性反応適中度が低い医療機関がある。	○	○	○	2/2	1/2	2/2	2/2	2/2	0/2		○		○	2/2	2/2	1/2	2/2
14	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。	○	○		5/5	5/5	2/2	2/2	2/2	1/2					4/5	4/5	5/5	4/5
15	・該当なし	○	○	○	5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1	○	○	○	○	4/5	4/5	5/5	4/5
16	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	5/5	5/5	1/1	1/1	0/1	0/1	○				1/5	4/5	2/5	3/5
17	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○			4/5	4/5	1/1	1/1	1/1	0/1					4/5	5/5	5/5	5/5
18	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		○	4/5	4/5	1/2	2/2	2/2	0/2	○	○	○	○	2/4	4/4	4/4	4/4
19	・該当なし	○	○		5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	1/1					3/5	4/5	5/5	2/5
20	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○		1/2	2/2	2/2	2/2	2/2	0/2					2/2	1/2	1/2	1/2

区市町村 (No)	5 精検受診率				分 析	対策1		対策2		対策3
	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策
11	0	53	44.8%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・結果の把握に努める。				
12	0	91	56.3%	未満	・不明					
13	0	50	36.7%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。 ・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・要精密者で二次検診結果の通知がない場合には、電話や文書により追跡調査を行いたい。				
14	87	0	44.9%	未満	・受診しない理由が明らかになっていない。			・受診勧奨通知回数の増及び未受診理由の書式による提出。		
15	0	22	59.3%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。					
16	0	15	25.0%	未満	・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・医師会に更なる協力を依頼する。				
17	0	9	84.7%	以上						・医療機関が1ヶ所のため。
18	130	0	39.3%	未満	・特になし			・特になし	・特になし	
19	1	6	75.0%	以上						・受診の把握ができない者に問合せ勧奨している。
20	32	321	23.1%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・受診率の向上対策に取り組んでいるため、精検結果把握の具体的な対策まで、手が回っていない。				

区市町村 (No)	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率			分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(上皮内がん割合)		
	精検受診率 把握	年齢階級別	検診機関別	精検 未受診率 把握	年齢階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	年齢階級別	検診機関別	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見率 把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	年齢階級別	検診機関別	受診歴別
11	○	○	○	○	○	○		○	○		4	0.03%	未満	精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○		○	○	
12	○	○	○	○	○		○	○	○		12	0.08%	以上		○	○					
13	○	○	○	○	○	○		○	○	○	1	0.03%	未満	精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○	○			
14	○	○		○	○			○	○		7	0.10%	以上		○	○					
15	○	○	○	○	○			○			5	0.05%	以上		○	○	○		○	○	
16	○										1	0.03%	未満	不明。 精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○				
17	○	○	○					○	○	○	6	0.13%	以上		○	○	○	○	○	○	○
18	○		○				○				4	0.06%	以上		○		○				
19	○						○				10	0.13%	以上		○						
20	○	○									5	0.02%	未満	精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○					

区市町村 (No)	7 陽性反応適中度		分析	集計作業（陽性反応適中度）				課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別				
11	4.17%	以上		○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握 			
12	5.77%	以上		○	○			<ul style="list-style-type: none"> ・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握 ・2年連続受診者の集計 	・2年連続受診者未把握		
13	1.27%	未滿	・精検受診率が低い。	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握 			
14	4.43%	以上		○	○			<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上 			
15	9.26%	以上		○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握 			
16	5.00%	以上		○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 	・精検受診把握の情報提供体制はできて いるが、報告時期までに情報が得られない		
17	10.17%	以上		○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 			
18	1.87%	未滿	・「事業評価のための点検表」において、項目が 満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 精検受診率が低い。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・検診機関精度管理の検討 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上 			
19	35.71%	以上		○				<ul style="list-style-type: none"> ・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 			
20	1.09%	未滿	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が 満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○	○			<ul style="list-style-type: none"> ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握 			

区市町村 (No)	実施期		1 検査方法及び対象						2 受診率						(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の)			
	隔年	毎年	頸部細胞診	対象	頸部細胞診 +HPV	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	台帳作成	均等な 受診勧奨	年齢階級別	受診者別 データ	検診機関別
21	○		○	20歳以上女性 原則として偶数年齢					193,022	11,208	13,618	842	23,984	12.4%	未滿	○	○	○	○	○
22		○	○	20歳以上女性 毎年					128,890	13,107	12,481	未把握	25,588	19.9%	以上		○	○		
23	○		○	20歳以上女性 隔年					191,012	18,147	16,961	622	34,486	18.1%	未滿		○	○	○	○
24		○	○	20歳以上 毎年					142,241	17,882	18,293	12,630	23,545	16.6%	未滿			○	○	○
25	○		○	20歳以上女性 前年度未受診者					47,087	2,358	3,208	0	5,566	11.8%	未滿			○	○	○
26		○	○	20歳以上 女性					38,772	5,895	5,591	4,518	6,968	18.0%	未滿	○	○	○	○	○
27		○	○	20歳以上女性 毎年					48,071	4,424	4,732	1,699	7,457	15.5%	未滿			○	○	○
28	○		○	20歳以上 前年度未受診者					36,587	1,684	2,242	0	3,926	10.7%	未滿			○	○	○
29		○	○	20歳以上女性					63,535	5,341	5,965	1,558	9,748	15.3%	未滿	○	○	○	○	○
30		○	○	20歳以上女性					29,789	2,517	2,688	未把握	5,205	17.5%	未滿			○	○	○

区市町村 (No)	情報管理)			3 要精検率		
	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	2年連続受 診者の集計	当該年度 要精検者数	要精検率	全国 比較
21	○	○	○	85	0.6%	未満
22		○		148	1.2%	未満
23		○	○	357	2.1%	高い
24		○	○	122	0.7%	未満
25		○		33	1.0%	未満
26	○	○	○	65	1.2%	未満
27	○	○	○	24	0.5%	未満
28	○	○		18	0.8%	未満
29			○	59	1.0%	未満
30				24	0.9%	未満

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(5-1)細胞診精度管理		(5-2)細胞診精度管理				4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級別	検診機関別	適切な 検体採取	検査を 他検査機関 委託	二重 チェック	十分な経験医 師、検査技師	過去の細胞 所見の見直し	ベセスダ分類 を使用	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
21	・がん発見率が低い。	○	○		5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1					4/5	3/5	5/5	2/5
22	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○		5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1					5/5	5/5	5/5	5/5
23	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。	○	○	○	5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	1/1					5/5	5/5	5/5	5/5
24	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○	5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1					3/5	4/5	5/5	5/5
25	・該当なし	○	○	○	5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1					4/5	4/5	5/5	3/5
26	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○		3/5	4/5	1/1	1/1	1/1	0/1	○				4/5	2/5	4/5	4/5
27	・がん発見率が低い。	○	○	○	4/4	4/4	1/1	1/1	1/1	0/1					2/4	3/4	3/4	2/4
28	・がん発見率が低い。	○	○	○	2/2	2/2	1/1	1/1	1/1	0/1					2/2	2/2	2/2	1/2
29	・該当なし	○	○	○	5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1					3/5	4/5	5/5	3/5
30	・がん発見率が低い。	○	○		3/4	4/4	1/1	1/1	1/1	1/1					2/4	4/4	4/4	4/4

区市町村 (No)	5 精検受診率				分 析	対策1		対策2		対策3
	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策
21	0	43	49.4%	未満	・情報提供体制はできているが、国への報告 時期までに、精検結果について情報が得ら れない。	・未報告の精検が多く、今後報告が増加すると予 測される。	・精検結果把握が検診精度管理上重要な ことをPRLして欲しい。			
22	0	105	29.1%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はある が、医療機関からの情報提供が得られない 場合がある。	・医療機関に文書照会等を行い、情報提供を促 す。				
23	122	61	48.7%	未満	・受診しない理由が明らかになっていない。			・精検未受診者に対する積極的な勧奨。		
24	0	17	86.1%	以上						
25	2	3	84.8%	以上						・受診者本人へのアンケートを実施している。
26	0	11	83.1%	以上						・検査委託先が医療機関に、二次検診結果を知ら せるようお願いしている。
27	0	10	58.3%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はある が、医療機関からの情報提供が得られない 場合がある。	・要精検者に精検報告書を渡している。				
28	0	3	83.3%	以上						
29	2	12	76.3%	以上						・精密検査結果を医療機関から市へ報告。 ・一次検査結果を送付する際に精検結果を記入し てもらおうアンケートを送付、返信ない場合には電 話で状況確認。
30	0	23	4.2%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報提 供体制ができていない。	・21年度は個別に確認を行う予定である。				

区市町村 (No)	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率			分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(上皮内がん割合)			
	精検受診率 把握	年齢階級別	検診機関別	精検 未受診率 把握	年齢階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	年齢階級別	検診機関別	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見率 把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	
21	○	○		○	○			○	○		2	0.01%	未満	精検結果の把握に時間がかかるため。	○	○			○			
22	○	○									2	0.02%	未満	精検受診率が許容値と比較して低い。	○							
23	○	○	○	○	○	○		○	○	○	14	0.08%	以上		○	○	○					
24	○	○	○				○	○	○	○	9	0.05%	以上		○	○	○					
25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	0.19%	以上		○	○	○					
26	○	○		○	○			○			2	0.04%	未満	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見に占める早期がん(肺がん)については臨床病期Ⅰ期がん、子宮がんについては上皮内がん)発見の割合が低い。	○	○			○		○	
27	○	○	○	○	○	○		○	○	○	1	0.02%	未満	精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○	○	○	○	○	
28	○	○	○	○	○	○		○	○	○	0	0.00%	未満	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○	○				
29	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7	0.12%	以上		○	○	○		○	○		
30	○	○						○			0	0.00%	未満	精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○						

区市町村 (No)	7 陽性反応適中度		分析	集計作業 (陽性反応適中度)				課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別				
21	2.35%	未満	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○	○			・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明	・精検受診把握の情報提供体制はできていないが、報告時期までに情報が得られない		
22	1.35%	未満	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○				・実施期間の検討 ・要精検受診結果の把握 ・受診者特性の検討 ・2年連続受診者の集計	・2年連続受診者未把握		
23	3.92%	未満	・精検受診率が低い。	○	○	○		・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上			
24	7.38%	以上		○	○	○		・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明			
25	18.18%	以上		○	○	○		・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明			
26	3.08%	未満	・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○				・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・受診者特性の検討	・1機関未回収		
27	4.17%	以上		○	○	○	○	・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握 ・受診者特性の検討			
28	0.00%	未満	・がん発見率が低い。	○	○	○	○	・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・受診者特性の検討			
29	11.86%	以上		○				・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明			
30	0.00%	未満	・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○				・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握 ・2年連続受診者の集計	・2年連続受診者未把握		

区市町村 (No)	実施期		1 検査方法及び対象						2 受診率						(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の)			
	隔年	毎年	頸部細胞診	対象	頸部細胞診 +HPV	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	台帳作成	均等な 受診勸奨	年齢階級別	受診者別 データ	検診機関別
31	○		○	20歳以上女性 隔年					59,314	3,804	3,245	97	6,952	11.7%	未滿			○	○	
32		○	○	20歳以上女性 毎年					110,338	12,468	9,613	4,374	17,707	16.0%	未滿			○	○	
33	○		○	20歳以上女性 昨年度未受診者					30,730	1,880	1,977	46	3,811	12.4%	未滿		○	○	○	○
34	○		○	20歳以上女性 隔年					48,369	3,137	2,541	0	5,678	11.7%	未滿		○	○	○	
35	○		○	20歳以上女性 隔年					45,832	3,650	3,652	1,251	6,051	13.2%	未滿	○		○		○
36	○		○	20歳以上女性 隔年					39,407	1,475	1,976	0	3,451	8.8%	未滿	○	○	○	○	○
37	○		○	20歳以上女性 前年度未受診者					29,004	1,667	1,664	2	3,329	11.5%	未滿			○	○	○
38	○		○	20歳以上女性 隔年					19,545	1,684	1,485	9	3,160	16.2%	未滿		○	○	○	○
39	○		○	20歳以上の市民 隔年					16,071	725	723	0	1,448	9.0%	未滿		○		○	○
40	○		○	20歳以上女性 隔年					21,193	955	1,277	0	2,232	10.5%	未滿			○	○	○

区市町村 (No)	情報管理)			3 要精検率		
	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	2年連続受 診者の集計	当該年度 要精検者数	要精検率	全国 比較
31	○	○	○	44	1.4%	同値
32	○	○	○	46	0.5%	未満
33	○			14	0.7%	未満
34			○	28	1.1%	未満
35			○	27	0.7%	未満
36	○	○	○	29	1.5%	高い
37			○	13	0.8%	未満
38		○	○	21	1.4%	同値
39		○		18	2.5%	高い
40		○	○	8	0.6%	未満

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(5-1)細胞診精度管理		(5-2)細胞診精度管理				4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級別	検診機関別	適切な 検体採取	検査を 他検査機関 委託	二重 チェック	十分な経験医 師、検査技師	過去の細胞 所見の見直し	ベセスダ分類 を使用	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
31		○			5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1	○	○		○	4/5	3/5	5/5	1/5
32	-各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 -初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 -「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○			4/5	4/5	1/1	1/1	1/1	0/1					3/5	1/5	4/5	3/5
33	-「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○		5/5	5/5	3/5	4/5	5/5	2/5	○	○	○	○	3/5	4/5	5/5	5/5
34	-該当なし	○	○	○	5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1	○	○	○	○	5/5	5/5	5/5	4/5
35	-各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○	5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1					2/5	5/5	4/5	2/5
36	-各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 -初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が多い。 -がん発見率が高い。	○	○	○	5/5	4/5	2/2	2/2	2/2	0/2	○	○	○	○	4/5	4/5	5/5	5/5
37	-該当なし	○	○	○	4/5	4/5	1/1	1/1	1/1	1/1					3/5	4/5	4/5	3/5
38		○	○	○	5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1	○	○		○	5/5	5/5	5/5	5/5
39	-該当なし	○			3/3	2/3	2/2	2/2	2/2	0/2					3/3	3/3	3/3	3/3
40	-がん発見率が低い。	○	○		3/3	3/3	1/1	1/1	1/1	0/1					1/3	3/3	3/3	3/3

区市町村 (No)	5 精検受診率				分 析	対策1		対策2		対策3
	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策
31	0	22	50.0%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。 ・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・未把握者に対し、電話での追跡調査の強化。	・医療機関に東京都が精密検査結果の調査を実施して欲しい。			
32	0	15	67.4%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。 ・要精検者にアンケート送付しているが返送がない場合がある。	・要精検者へ結果報告用のアンケートを送付。				
33	0	4	71.4%	以上						・受託機関に対し、精検結果の報告を含めた契約をしている。
34	1	0	96.4%	以上						・精密検査の助成金を出しており、それを請求する時に結果を把握できる。
35	0	10	63.0%	未満	・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・精検未受診者に対し、個別に連絡し、結果について回答を求める。				
36	7	1	72.4%	以上						・一次検査の医療機関から、直接結果説明を受け精密検査を実施し、精検結果は文書で市へ報告をもらう。(一部施設のみ契約)また、市が、文書・電話による追跡をする。他の医療機関で精密受診した場合は、市が本人へ追跡し把握する。
37	0	0	100.0%	以上						・検診実施医療機関が結果を直接電話連絡している。
38	0	0	100.0%	以上						・個別電話勧奨。
39	0	17	5.6%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・精検対象者に対するアンケートを実施し、結果について返送してもらい、把握を試みる。返送されなかった方に対して電話フォローしていく。	・東京都での受診医療機関の統一。(都で契約)			
40	不明	不明	不明	不明	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・電話や文書による把握方法の検討。				

区市町村 (No)	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率			分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(上皮内がん割合)		
	精検受診率 把握	年齢階級別	検診機関別	精検 未受診率 把握	年齢階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	年齢階級別	検診機関別	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見率 把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	年齢階級別	検診機関別	受診歴別
31	○	○		○	○		○	○	○		2	0.06%	以上		○	○	○				
32	○										8	0.08%	以上		○						
33	○	○		○	○						1	0.05%	以上		○	○					
34	○	○		○			○				4	0.16%	以上		○	○					
35	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3	0.08%	以上		○	○	○				
36	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	0.05%	以上		○	○	○	○	○	○	○
37	○	○	○	○	○	○		○	○	○	1	0.06%	以上		○	○	○				
38	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	0.67%	以上		○	○		○			
39	○						○				0	0.00%	未満	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○						
40		○		○	○			○	○		不明	不明	不明	・精検受診率が許容値と比較して低い。		○					

区市町村 (No)	7 陽性反応適中度		分析	集計作業（陽性反応適中度）				課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別				
31	4.55%	以上		○	○			・がん検診の必要性周知と受診率の向上	・精検受診把握の情報提供体制はできて いるが、報告時期までに情報が得られない		
32	17.39%	以上		○				・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握		・1機関未回収	
33	7.14%	以上		○				・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討			
34	14.29%	以上		○				・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
35	11.11%	以上		○	○			・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明	・精検受診把握の情報提供体制はできて いるが、報告時期までに情報が得られない		
36	3.45%	未満	・該当なし	○	○	○	○	・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関の要精検判定基準の把握			
37	7.69%	以上		○				・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明			
38	47.62%	以上		○				・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
39	0.00%	未満	・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・精検受診率が低い。	○				・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握			
40	不明	不明	・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。					・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握	・精検結果未把握		

区市町村 (No)	実施期		1 検査方法及び対象						2 受診率						(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の)			
	隔年	毎年	頸部細胞診	対象	頸部細胞診 +HPV	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	台帳作成	均等な 受診勸奨	年齢階級別	受診者別 データ	検診機関別
41	○		○	20歳以上女性 隔年					21,558	936	1,352	5	2,283	10.6%	未滿	○	○	○	○	○
42	○		○	20歳以上女性 隔年					19,898	899	596	0	1,495	7.5%	未滿		○	○	○	○
43	○		○	20歳以上 前年度未受診者					31,042	1,784	1,236	0	3,020	9.7%	未滿			○	○	
44	○		○	20歳以上女性 隔年					17,724	908	913	0	1,821	10.3%	未滿			○		
45	○		○	20歳以上 偶数年齢 又は 前年未受診者					39,148	10,723	4,706	0	15,429	39.4%	以上	○	○	○	○	○
46	○		○	20歳以上女性 隔年					20,590	823	1,023	29	1,817	8.8%	未滿		○	○	○	○
47	○		○	20歳以上女性 隔年					14,529	705	792	0	1,497	10.3%	未滿			○	○	○
48	○		○	20歳以上女性 前年度受診者を除く					21,049	1,278	2,518	0	3,796	18.0%	未滿		○	○		○
49	○		○	20歳以上 年度末年齢が偶数 の女性					52,533	3,298	3,154	0	6,452	12.3%	未滿			○	○	○
50	○		○	20歳以上女性 前年度未受診者					8,526	443	426	0	869	10.2%	未滿		○	○	○	○

区市町村 (No)	情報管理)			3 要精検率		
	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	2年連続受 診者の集計	当該年度 要精検者数	要精検率	全国 比較
41		○	○	10	0.7%	未満
42				2	0.3%	未満
43				12	1.0%	未満
44			○	10	1.1%	未満
45		○		78	1.7%	高い
46	○	○	○	9	0.9%	未満
47			○	4	0.5%	未満
48			○	10	0.4%	未満
49		○	○	13	0.4%	未満
50	○	○	○	28	1.1%	未満

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(5-1)細胞診精度管理		(5-2)細胞診精度管理				4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級別	検診機関別	適切な 検体採取	検査を 他検査機関 委託	二重 チェック	十分な経験医 師、検査技師	過去の細胞 所見の見直し	ベセスダ分類 を使用	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
41	-がん発見率が低い。	○	○		1/2	2/2	1/1	1/1	1/1	0/1					1/2	2/2	2/2	2/2
42	-がん発見率が低い。 -「事業評価のための点検表」において、項目が満た されていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	3/3	1/3	1/2	1/2	2/2	1/2	○				1/3	2/3	2/3	2/3
43	-各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 -がん発見率が低い。	○		○	4/4	4/4	1/1	1/1	1/1	0/1					3/4	3/4	3/4	3/4
44	-各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○		1/2	1/2	2/2	2/2	2/2	0/2					2/2	2/2	2/2	2/2
45	-各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 -がん発見率が高い。	○			5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1					3/5	3/5	5/5	5/5
46	-該当なし	○	○	○	2/2	2/2	1/1	1/1	1/1	0/1					0/2	1/2	1/2	1/2
47	-各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○	2/2	2/2	1/1	1/1	1/1	0/1			○		2/2	2/2	2/2	2/2
48	-がん発見率が低い。	○	○	○	5/5	4/5	2/2	2/2	2/2	0/2					5/5	5/5	5/5	5/5
49	-がん発見率が低い。 -「事業評価のための点検表」において、項目が満た されていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	4/5	5/5	1/1	1/1	1/1	0/1					4/5	3/5	4/5	5/5
50	-がん発見率が低い。 -「事業評価のための点検表」において、項目が満た されていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	2/2	2/2	1/2	2/2	1/2	1/2					2/2	2/2	2/2	2/2

区市町村 (No)	5 精検受診率				分 析	対策1		対策2		対策3
	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策
41	2	2	60.0%	未満	・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・検診実施時期が年度末のため追跡調査が年度を越えるため、調査が統計に反映される工夫が必要。				
42	0	0	100.0%	以上						
43	1	0	91.7%	以上						・医療機関で受けた一次結果を市で把握。 ・要精検者へ個別に通知し、精検結果を把握。 ・個別通知が未返信の方には電話にてフォローし、受診勧奨を行っている。
44	1	4	50.0%	未満	・本人との連絡がとれない。	・現状、電話しても連絡が取れない。 ・精検勧奨の手紙を出す等検討する。				
45	0	32	59.0%	未満	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・一次検診実施医療機関に結果把握の協力を依頼。	・医療機関(一次・精検実施機関)へがん精度管理情報提供の協力依頼。			
46	不明	不明	不明	不明	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・なし				
47	0	2	50.0%	未満	・精検者の追跡調査を行っているが返答が得られない。	・追跡調査の強化。				
48	0	3	70.0%	以上						
49	0	6	53.8%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。 ・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・医師会への依頼強化。 ・精検結果返送依頼の作成。	・都内医療機関への作成協力依頼。 ・市町村あて文書は、無料とすることの協力依頼。			
50	4	10	50.0%	未満	・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・実施時期を増やす。				

区市町村 (No)	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率			分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(上皮内がん割合)		
	精検受診率 把握	年齢階級別	検診機関別	精検 未受診率 把握	年齢階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	年齢階級別	検診機関別	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見率 把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	年齢階級別	検診機関別	受診歴別
41	○	○		○	○		○	○	○		0	0.00%	未満	・該当なし	○	○					
42	○	○		○			○	○	○		0	0.00%	未満	・該当なし	○	○					
43	○			○			○				0	0.00%	未満	・該当なし	○						
44	○	○		○	○		○	○	○		2	0.22%	以上		○	○					
45	○										6	0.13%	以上		○						
46											不明	不明	不明	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検結果未把握のため。							
47	○	○	○	○	○	○		○	○	○	1	0.13%	以上		○	○	○				
48	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	0.04%	未満	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○				
49	○	○	○					○			0	0.00%	未満	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○				
50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	0.04%	未満	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○	○			

区市町村 (No)	7 陽性反応適中度		分析	集計作業（陽性反応適中度）				課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別				
41	0.00%	未満	・該当なし	○				<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上 ・受診者特性の検討 	・精検受診把握の情報提供体制はできていないが、報告時期までに情報が得られない		
42	0.00%	未満	<ul style="list-style-type: none"> ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 	○	○			<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・受診者特性の検討 			
43	0.00%	未満	・がん発見率が低い。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・受診者特性の検討 			
44	20.00%	以上		○	○			<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・要精検受診結果の把握 			
45	7.69%	以上		○				<ul style="list-style-type: none"> ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握 			
46	不明	不明	・精検結果未把握のため。					<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握 	・精検結果未把握		
47	25.00%	以上		○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握 			
48	10.00%	以上		○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・受診者特性の検討 			
49	0.00%	未満	<ul style="list-style-type: none"> ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。 	○	○			<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握 ・受診者特性の検討 			
50	3.57%	未満	<ul style="list-style-type: none"> ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。 	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・報告時期の検討 ・受診者特性の検討 	・精検受診把握の情報提供体制はできていないが、報告時期までに情報が得られない		2506

区市町村 (No)	実施期		1 検査方法及び対象						2 受診率						(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の)			
	隔年	毎年	頸部細胞診	対象	頸部細胞診 +HPV	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	台帳作成	均等な 受診動向	年齢階級別	受診者別 データ	検診機関別
51	○		○	20歳以上 偶数年齢者 (隔年)					4,392	344	358	未把握	702	16.0%	未滿		○	○		○
52		○	○	18歳以上女性 毎年					817	108	173	55	226	27.7%	以上	○		○	○	○
53	○		○	20歳以上女性 隔年					1,944	57	59	0	116	6.0%	未滿		○	○	○	○
54		○	○	20歳以上女性					2,574	339	336	212	463	18.0%	未滿		○	○	○	○
55		○					○ 頸部細胞診+ コルポスコピー 診	希望者住民全員 女性 年齢制限なし	82	42	39	23	58	70.7%	以上					
56	○		○	年齢制限なし (隔年実施)					935	194	276	未把握	470	50.3%	以上			○		
57		○					○ 頸部細胞診+ コルポスコピー 診	20歳以上女性	558	151	136	66	221	39.6%	以上					
58		○	○	20歳以上女性 毎年					807	105	137	未把握	242	30.0%	以上	○	○			
59		○	○	20歳以上女性 毎年					69	32	39	21	50	72.5%	以上	○	○	○	○	○
60		○	○	20歳以上女性 毎年					2,466	331	342	225	448	18.2%	未滿			○		

区市町村 (No)	情報管理)			3 要精検率		
	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	2年連続受 診者の集計	当該年度 要精検者数	要精検率	全国 比較
51				15	0.8%	未満
52		○	○	26	5.5%	高い
53		○	○	1	0.3%	未満
54			○	24	1.5%	高い
55				3	1.6%	高い
56				4	0.6%	未満
57				9	1.5%	高い
58				5	1.2%	未満
59	○	○	○	9	6.3%	高い
60		○	○	48	2.9%	高い

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(5-1)細胞診精度管理		(5-2)細胞診精度管理				4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級別	検診機関別	適切な 検体採取	検査を 他検査機関 委託	二重 チェック	十分な経験医 師、検査技師	過去の細胞 所見の見直し	ベセスダ分類 を使用	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
51	-各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 -がん発見率が低い。 -「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	3/3	2/3	3/3	3/3	2/3	0/3					2/3	3/3	3/3	3/3
52	-該当なし	○			2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	○				2/2	2/2	2/2	2/2
53	-初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 -がん発見率が低い。	○			2/2	2/2	1/1	1/1	1/1	0/1					2/2	2/2	2/2	2/2
54	-各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1
55	-各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○			0/1	0/1	1/1	1/1	1/1	0/1					1/1	1/1	1/1	1/1
56	-初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○		1/1	0/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1
57	-該当なし	○			1/1	0/1	1/1	1/1	1/1	0/1					1/1	1/1	1/1	1/1
58	-「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		○	0/1	0/1	1/1	1/1	1/1	0/1					1/1	0/1	1/1	0/1
59	-がん発見率が高い。	○	○	○	0/1	0/1	1/1	1/1	1/1	0/1					1/1	1/1	1/1	1/1
60	-各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い	○	○		0/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1					1/1	1/1	1/1	1/1

区市町村 (No)	5 精検受診率				分 析	対策1		対策2		対策3
	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策
51	1	7	46.7%	未満	・結果は対象者から町が直接報告を受ける。報告時期までに情報が得られない。	・電話・通知による早期結果把握の強化。				
52	0	10	61.5%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。 ・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。 ・把握体制が十分に機能していない。	・現在は検診機関が精検結果について調査し、その報告を年に1度受け取る、といったシステムになっている。そこで、その報告頻度を毎月にして、よりきめの細かい情報収集に努めたい。 ・ある期間(6ヶ月など)精密検査の結果報告が検診機関に届かなかった場合には、保健師が対象者を家庭訪問するなどして状況把握するようにしたい。			・精検結果把握の方法について、具体的な方法や成功・失敗事例を研修会などで教えて欲しい。	
53	0	1	0.0%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。					
54	4	0	83.3%	以上						
55	0	2	33.3%	未満	・精密検査先病院が把握できない。	・島という環境で上京受診となる。本人へ事後後追い確認していく。検査委託先は医療実施なしのため、他医療機関の受診が必要となる。				
56	0	0	100.0%	以上						
57	0	0	100.0%	以上						
58	1	4	0.0%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・電話及び訪問による個別アプローチ。				
59	0	4	55.6%	未満	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・情報提供体制を整える必要がある。				
60	0	0	100.0%	以上						・検診業者と情報提供体制が整っている。

区市町村 (No)	7 陽性反応適中度		分析	集計作業（陽性反応適中度）				課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別				
51	0.00%	未満	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○				・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・2年連続受診者の集計	・精検受診把握の情報提供体制はできて いるが、報告時期までに情報が得られない ・2年連続受診者未把握		1850
52	0.00%	未満	・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○				・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・要精検受診結果の把握 ・受診者特性の検討			476
53	0.00%	未満	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診 歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○				・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握			356
54	0.00%	未満	・がん発見率が低い。	○				・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上			1607
55	0.00%	未満	・受診者数が少ないため。	○				・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・検診機関精度管理の検討 ・要精検受診結果の把握			186
56	25.00%	以上		○				・対象年齢の検討 ・2年連続受診者の集計 ・データの蓄積	・2年連続受診者未把握 ・過去3年間分(H18・19・20年度)の結果を 集計 ・H20年度から、隔年実施へ変更		672 (3年間分受診者数)
57	0.00%	未満	・該当なし	○				・実施期間の検討 ・受診者特性の検討			607
58	0.00%	未満	・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○				・実施期間の検討 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握 ・2年連続受診者の集計 ・データの蓄積	・2年連続受診者未把握 ・過去4年間分(H17・18・19・20年度)の結 果を集計		432 (4年分受診者数)
59	11.11%	以上		○				・実施期間の検討 ・検診機関精度管理の検討 ・要精検受診結果の把握			144
60	4.17%	以上		○	○			・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討			1628

区市町村 (No)	実施期		1 検査方法及び対象						2 受診率						(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の)			
	隔年	毎年	頸部細胞診	対象	頸部細胞診 +HPV	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	台帳作成	均等な 受診勧奨	年齢階級別	受診者別 データ	検診機関別
61		○	○	20歳以上女性					41	19	15	11	23	56.1%	以上	○			○	
62		○	○	30歳以上女性					565	318	308	235	391	69.2%	以上	○	○	○	○	○

区市町村 (No)	情報管理)			3 要精検率		
	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	2年連続受 診者の集計	当該年度 要精検者数	要精検率	全国 比較
61				0	0.0%	未満
62	○	○	○	146	10.3%	高い

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(5-1)細胞診精度管理		(5-2)細胞診精度管理				4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級別	検診機関別	適切な 検体採取	検査を 他検査機関 委託	二重 チェック	十分な経験医 師、検査技師	過去の細胞 所見の見直し	ベセスダ分類 を使用	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
61	受診者数が少ないため。	○		○	0/1	0/1	1/1	1/1	1/1	0/1					1/1	1/1	1/1	1/1
62	がん発見率が高い。	○	○	○	0/1	0/1	1/1	1/1	1/1	0/1					1/1	1/1	1/1	1/1

区市町村 (No)	5 精検受診率				分析	対策1		対策2		対策3
	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策
61	0	0	0.0%	未満	・要精検者が0人であった。					
62	0	0	100.0%	以上						・検診機関が一機関のみである。

区市町村 (No)	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率			分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(上皮内がん割合)		
	精検受診率 把握	年齢階級別	検診機関別	精検 未受診率 把握	年齢階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	年齢階級別	検診機関別	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見率 把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	年齢階級別	検診機関別	受診歴別
61	○										0	0.00%	未満	対象者・受診者が極めて少ないため。	○						
62	○	○	○	○	○	○					12	0.85%	以上		○	○	○				

区市町村 (No)	7 陽性反応適中度		分析	集計作業 (陽性反応適中度)				課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別				
61	0.00%	未滿	・対象者・受診者・要精検者とも少ない。	○				・実施期間の検討 ・検診機関精度管理の検討	・要精検者が0人であった		75
62	8.22%	以上		○	○	○	○	・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・検診機関精度管理の検討			1418